

オンライン形式では自分の手で実習を行えないために身についたか分からない」「次年度やOSCEが不安」といったことが挙げられ、中には、OSCEの練習を自宅にあるもので代用して行ったという工夫が見受けられました。

学習形式が多様になった1年、「授業や実習で、大学に工夫してほしい／ほしかったことはありますか？」という質問には多くの声が寄せられまし

た。一番多かった意見は「課題の量や期限、試験の日程などが重複し辛かったので、教授間で調整をしてほしい」というものでした。その他には、「質問しやすい環境がほしい」「家庭の印刷環境やインターネット環境を配慮してほしい」という意見がありました。

自宅で孤軍奮闘している学生のためにも大学の環境や制度が整備されることを願うばかりです。

## 運動や資格の勉強

### コロナ禍で新たに開始

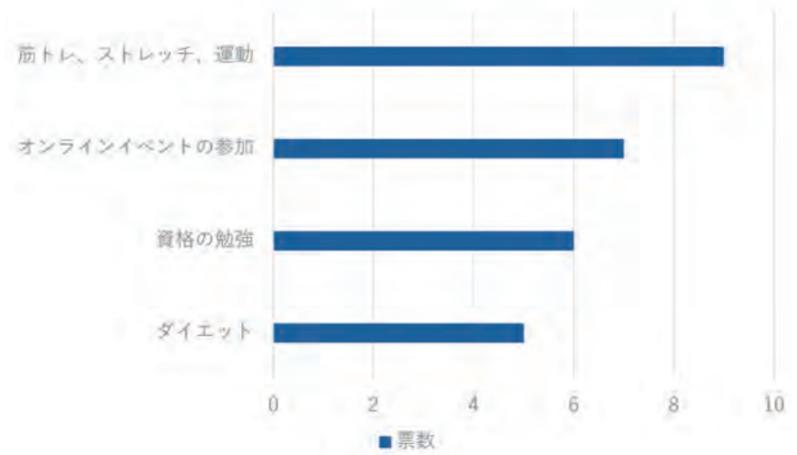
これまでの調査から、コロナ禍での学生生活は、学生交流の面においても学習面においても困難なものであることが分かりました。

最後に「コロナ禍で新しく取り組んだことはありますか？」という質問をしました。最も多かった意見が、「筋トレやストレッチなどの運動」(9票)で、次いで、「オンラインイベントへ

の参加」(7票)、「資格の勉強」(6票)でした(図5)。運動は、適度な気分転換や自粛による運動不足解消になるので、積極的に取り入れたいところ

です。また、通学時間の減少からか、自分の時間が多くなり、薬学の勉強以外にも自分の興味のある分野の勉強をしている人も多く見受けられました。

図5 コロナ禍で新しく取り組んだことはありますか？



英語や中国語などの語学学習、ファイナンシャル・プランナー(FP)検定や簿記などお金に関する資格の取

得、アロマセラピー検定の取得など、様々なことを新しく学んでいるようです。

### おわりに

今回の意識調査により、昨年度の学生生活の苦労と工夫を垣間見ることができました。COVID-19の流行から1年以上が経ちますが、まだまだ不

自由な学生生活は続きそうです。これから大学生活が始まる新入生にも新年度を迎えたばかりの在學生にも、微力ながら本記事がこの大変な状況を乗り越えるためのお役に立てれば幸いです。

今回から新たに、キャリアカウンセラーの私が薬学生の相談事例を紹介するコラムが始まりました。卒後の進路について悩む薬学生は少なくないと思います。他の薬学生の相談事例を参考に、自身が望む将来の姿を想像してみましょう！

**Q** 薬学部5年生のAです。私は中学生の頃から薬剤師になりたいと考え、薬学部に入學しました。その頃近所の薬局でOTC薬の相談に乗ってもらった薬剤師がとても親切で優しかったのがきっかけです。いよいよ就職活動の時期になりましたが、周りは「キャリアの始まりは病院の方がいいよ」という友達ばかりで、憧れの薬局薬剤師になりたいと思っている私は、迷い始めています。まずは病院に就職した方がスキルアップできますか？

**A** 「キャリアの始まりは病院がいいか、薬局がいいか」という議論は以前からありました。皆さんの先輩方も迷いながら就職活動をしてきまし

## 薬学生 キャリア相談 Q&A



キャリア・  
ポジション社長  
西鶴 智香

## 病院か薬局かで迷っています

た。結論から言うと、「こうした方が正解」という「答え」はありません。就職は「自分が将来どうなりたいか」で決めるものであり、モデルのようなものはないのです。

さて、ではなぜ皆「最初は病院がいいらしい」と言うのでしょうか。薬の専門家である薬剤師に求められるのは、医師が決めた薬をそのまま提供するだけでなく、患者のことを深く知った上で医師の処方方を精査し、意見を述べることです。患者がどのような疾患で、今どのような状態なのかを把握した上で、最適な薬の選択を熟考しなければなりません。薬局よりも病院の方が、患者の多くの情報を入手しやすい環境にあるため、「最初は病院がいい」と考える方が多いでしょう。医師や看護師と共に患者のためにチームで働くこともスキルアップにつながるとイメージしやすいのだと思います。

薬局では、患者情報の収集はできないのでしょうか？実は既に、医療連携ネットワークを作って病院、診療所、薬局、介護事業所間で患者情報を共有している地域はありますし、また、在宅医療の現場では、訪問診療の医師や看護師、介護者らと協働している薬局薬剤師も少なくないのです。国の方針から見ても、地域での医療と介護の連携ネットワークに、薬局薬剤師が積極的に加わっていくことが期待されていることがわかります。

病院と薬局は、「役割が違う施設」というだけであり、患者に関わる薬の専門家という薬剤師のポジションには何のの違いもありません。病院に就職しても研修会にすら参加しない薬剤師もいれば、薬局に勤務しながら、医師と共に学会に参加し自己研鑽する薬剤師もいます。どこで、何をするのかは、あなたの「なりたいたい姿」次第です。

## 「考える力」「対応力」を身につけて、効率よい充実した実習にしよう！

改訂モデル・コアカリキュラム対応

# 薬学生のための臨床実習

一般社団法人日本病院薬剤師会 監修 一般社団法人日本病院薬剤師会薬学教育委員会 編集

### ■代表的8疾患の症例について薬物治療の考え方や進め方を対話形式で解説

カルテや患者情報から、学生と指導薬剤師のディスカッションを通して薬物療法を検討し、医師への処方提案、患者への服薬指導、学生カルテの記録までの流れがわかります。

◎ポイントごとに「何をどう考えていけばよいか」が掴める！

◎実際の医療現場をイメージしながら学べる！

詳細はコチラ▶



B5判/159頁/定価2,300円+税

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(<https://yakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。